

平成23年11月18日

平成23年度「携帯電話等の利用に関する実態調査」の結果について

岡山県教育庁指導課
生徒指導推進室

1 調査の目的等

児童生徒の携帯電話等の所持や利用の状況、携帯電話等を介したトラブル等の実態、フィルタリングの利用状況、学校における取組などについて、前回（平成20年3月）の調査結果とも比較しながら、その変化や現状を把握することにより、携帯電話やインターネットの正しい利用に関する児童生徒への指導や保護者への啓発等、今後の取組に資する。

2 調査の実施時期

平成23年6月（前回調査：平成20年3月）

3 調査の種類と対象

学校調査

全公立小（414校）、中（162校）、高（67校）、中等教育学校（1校）の計644校
児童生徒・保護者調査（抽出方式）

- ・小学校54校、中学校46校、高等学校（県立）50校
- ・抽出した学校において、各学年から1クラスを選び、選んだクラスの児童生徒及びその保護者を対象（ただし、小学校1～3年は保護者のみを対象）

調査への回答者数

- ・児童生徒 14,053人（抽出率9.7%）
- ・保護者 14,935人（抽出率7.6%）

4 調査結果の概要

別紙のとおり

5 今後の取組

児童生徒に対する情報モラル教育の強化、特に小学校における指導の充実
PTAと連携した保護者に対する研修等の充実や、家庭でのルールづくりの推進
携帯電話販売事業者に対するフィルタリング設定の徹底の要請